

岡沢セオン金

日大山形高出身

世界ボクシング 日本初



ボクシングの男子世界選手権ウエルター級決勝で、米国のオマリ・ジョーンズ（左）を攻める岡沢セオン＝5日、ベオグラード（ゲッティ＝共同）

これまでの最高成績は現世界ボクシング協会（WBA）ミドル級スーパー王者の村田諒太が2011年大会で獲得した銀メダル。サウスポーの岡沢は右リードパンチを軸に試合を組み立て、相手の圧力に苦しみながらも機敏なフットワークで距離を保ち、有効打を重ねた。最終3回もしっかりと足を動かし、持ち味を發揮。ワントーのコンビネーションを効果的に打ち込むなどし、ジャッジの支持が分かれる僅差の勝

ボクシングの男子世界選手権は5日、セルビア・ベオグラードで決勝を行い、東京五輪代表でウエルター級の岡沢セオン（INSPA・日大山形高出）がオマリ・ジョーンズ（米国）を3-2の判定で破って優勝。バンタム級の坪井智也（自衛隊）とともに、同選手権で日本勢初となる金メダル獲得の快挙を成し遂げた。

負をものにした。

おかざわ・せおん

山形市出身。山形大付属小―山形大付属中―日大山形高―中大。INSPA所属。サウスポースタイルのアウトボクサー。2019年アジア選手権で銀メダルを獲得し、同年の世界選手権8強。東京五輪は2回戦敗退。父はガーナ人で母は日本人。179センチ、25歳。

購読・試読の

お申し込みは

フリーダイヤル

0120-81-8040



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年
11月6日
〈土曜日〉

速電
報版子

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。